

選挙の概要

(1) 選挙期日

平成13年7月28日任期満了に伴う第21回参议院議員通常選挙は、第166回通常国会の会期延長に伴い、平成19年6月26日(火)に開催された閣議において、7月12日(木)公示、7月29日(日)執行と決定された。

(2) 選挙の特色

本選挙は、在外選挙制度の改正や国外における不在者投票制度の創設等公職選挙法改正が行われてから初めての国政選挙であった。また、今回の通常選挙は、平成18年9月発足した安部内閣にとって初めての全国規模の国政選挙であり、その結果は日本政治の今後に大きな影響を持つと考えられ、数多くの政策の争点とともに、与党が過半数の議席を確保できるかどうかに関心が高まった。

(3) 候補者等

参议院兵庫県選挙区選出議員選挙

性別		所属党派				
		自由民主党	民主党	日本共産党	9条ネット	無所属
男	4	1	1	1		1
女	1				1	
計	5	1	1	1	1	1

参议院比例代表選出議員選挙

政党その他の政治団体の名称	性別		新現元別		
			新	現	元
維新政党・新風	男	3	3		
	女				
	計	3	3		
社会民主党	男	7	6	1	
	女	2	2		
	計	9	8	1	
公明党	男	14	8	6	
	女	3	2	1	
	計	17	10	7	
9条ネット	男	8	8		
	女	1			1
	計	9	8		1
共生新党	男	4	4		
	女	1	1		
	計	5	5		
日本共産党	男	9	7	1	1
	女	8	7	1	
	計	17	14	2	1
国民新党	男	12	11		1
	女	2	2		
	計	14	13		1
自由民主党	男	25	15	8	2
	女	10	6	4	
	計	35	21	12	2
民主党	男	27	19	7	1
	女	8	7	1	
	計	35	26	8	1

政党その他の政治団 体の名称	性別		新現元別		
			新	現	元
新党日本	男	3	3		
	女				
	計	3	3		
女性党	男				
	女	12	12		
	計	12	12		
合計	男	112	84	23	5
	女	47	39	7	1
	計	159	123	30	6

(4) 選挙公営

個人演説会、政党等演説会

公営施設使用の個人演説会及び政党演説会は、八鹿公民館で堀内照文候補の個人演説会が1回開催された。

ポスタ - 掲示場

選挙区選挙のポスタ - 掲示場区画数は10区画で、掲示場は市内313カ所に設置された。

選挙公報

選挙区選挙及び比例代表選挙の選挙公報を、自治会配布等により配布した。

(5) 選挙人名簿及び在外選挙人名簿の登録者数及び有権者数

参議院議員通常選挙に係る選挙人名簿選挙時登録の登録基準日等及び在外選挙人名簿に係る縦覧日は次のとおり決定された。

選挙人名簿

- ・登録基準日 平成19年7月11日(水)
- ・登録日 平成19年7月11日(水)
- ・縦覧日 平成19年7月12日(木)

在外選挙人名簿

- ・縦覧日 平成19年7月12日(木)

また、選挙人名簿及び在外選挙人名簿の登録者数及び当日有権者数は次のとおりであった。

	男	女	計
選挙人名簿登録者数 (平成19年7月11日現在)	11,176	12,395	23,571
選挙人名簿当日有権者数	11,150	12,384	23,534
在外選挙人名簿登録者数 (平成19年7月11日現在)	3	3	6
在外選挙人名簿当日有権者数	3	3	6

(6) 投票

投票所数は44箇所、このうち第1投票所(奥三谷公会堂)、第9投票所(日畑公会堂)、第25投票所(上山会館)、第36投票所(若杉会館)、第37投票所(横行公会堂)の5箇所が午前7時から午後6時まで、その他の投票所では午前7時から午後8時まで投票が行われた。

参議院通常選挙に係る当日有権者数は、23,540人でそのうち兵庫県選挙区選出議員に係る投票者数は16,494人、投票率70.07%、また比例代表選出議員選挙に係る投票者数は16,493人、投票率70.06%であった。投票率は、前回第20回参議院議員通常選挙(平成16年7月11日執行)より兵庫県選挙区で2.49%、比例代表で2.48%上回った。

なお、期日前投票は7月13日(金)より7月28日(土)までの16日間、午前8時30分～午後8時までの間市内4箇所で行った。期日前投票者数は、選挙区、比例代表とも3,143人で、これは、投票者総数の19.05%(選挙区)を占め、前回選挙より1,020人、48.04%上昇した。

また、滞在地や指定施設などで行う不在者投票者数は、選挙区で273人、比例代表で274人で前回選挙より、選挙区で37人、比例代表で34人上回った。

(7) 開票

開票は、八鹿文化会館ホールにて21時30分に選挙区、比例代表とも同時に開始され、選挙区は23時30分に、比例代表は翌日1時45分に終了した。

開票の結果、選挙区選挙の有効投票は15,512票、無効投票は982票、投票総数は16,494票で、当選者は辻 泰弘氏と鴻池 祥肇氏であった。また比例代表選挙の有効投票は15,483票、無効投票は1,010票、投票総数は16,493票で、民主党が20議席、自由民主党が14議席、公明党が7議席、日本共産党が3議席、社会民主党が2議席、国民新党が1議席、新党日本が1議席を獲得した。

(8) 選挙啓発

本選挙における選挙啓発は、選挙期日の周知はもちろんのこと、特に若年層の選挙に対する意識の高揚に努めつつ投票参加の呼びかけがなされた。併せて、今回の選挙から選挙区選挙も対象となった在外投票のほか、参議院選挙の仕組みや期日前投票、国外における不在者投票等についても引き続き積極的な周知が図られた。

今回の選挙啓発の特徴の1つとして、インターネットが重点的に活用され、総務省が開設した特設ホームページでは選挙期間中約130万件のアクセス件数があったと報告されている。